第47回三浦屋サロンコンサート　7月26日(土)

2025初夏の三浦屋サロンコンサートは
人気・実力を兼ね備える３人の華麗なる音色

椿　三　重　奏　団

チェロ　新倉 瞳　　ピアノ　高橋 多佳子　　ヴァイオリン　礒　絵里子

登米市津山　三浦屋　0225-68-2003

昼の部　12:30～　お食事　　夜の部　6:00～　お食事
2:00～　コンサート　　7:30～　コンサート
お一人様　￥11,000　（ 税込　ワンドリンク付 ）

椿三重奏団

それぞれが日本を代表するソリスト、室内楽奏者として活動を続ける3人。出会いは2008年、高橋と礒の出演するトリオの演奏会に急遽参加することとなった新倉は当時まだ大学生であったが意気投合し、その後も折に触れて共演を重ね、レパートリーを拡大、音楽を成熟させてきた。2017年の幸田町民会館つばきホールでのコンサート後に、トリオ名を付けて常設のピアノ三重奏としての活動を決意。椿が日本原産の樹木であり、18世紀にヨーロッパに渡り「東洋のバラ」と呼ばれ人気を博したこと、白い椿には「完璧な美しさ」という意味があることを踏まえ、日本人としてのアイデンティティーと、西洋のクラシック音楽に携わる3人を重ね合わせ、2019年「椿三重奏団」と命名。 2020年2月に初のCD「メンデルスゾーン/ブラームス:ピアノ三重奏曲第1番」(アールアンフィニ・レーベル)をリリース。歳月を重ね熟成した3人のアンサンブルはエモーショナルでダイナミック、そして 精緻との評価を受け、レコード芸術誌特選盤に選出された。

高橋多佳子(たかはしたかこ)

第12回ショパン国際コンクール第5位、第3回ラジヴィーウ国際ピアノコンクール第1位などを受賞。桐朋学園大学卒業、国立ワルシャワ・ショパン音楽院研究科修了。ワルシャワフィルをはじめ、新日本フィル、日本フィル、東京フィル、東響、東京都響など国内の主要オーケストラと共演を重ねる。ソロ活動の他に《デュオ・グレイス》《椿三重奏団》としても活動。ポーランドの《青少年のためのショパン国際コンクール》に審査員として招聘されるなど国際的キャリアも築いている。

礒絵里子(いそえりこ)

桐朋学園大学卒業後、ブリュッセル王立音楽院い留学し首席卒業。マリア・カナルス国際コンクール他多数入賞。オーケストラとの共演や、宮崎国際音楽祭へは毎年参加、アウトリーチ活動にも取り組むなど多彩な演奏活動を展開している。2010年よりFMヨコハマ「礒絵里子のSEASIDE CLASSIC」のパーソナリティを務める。確かな技量に基づいたヨーロッパ仕込みの洗練された感性には定評があり、ソロ活動に加え室内楽《デュオ・プリマ、アンサンブルφ、椿三重奏団》でも活躍中。洗足学園音楽大学講師。

新倉瞳(にいくらひとみ)

桐朋学園大学音楽学部を首席で卒業後、スイスへ渡りバーゼル音楽院ソリストコース・教職課程の両修士課程を最高点で終了。国内外での受賞歴も多数、近年では第18回ホテルオークラ音楽賞受賞。現在はCamerata Zurichのソロ首席チェリストとしてスイスを拠点に活躍する中、ソリスト、室内楽奏者として全国各地でリサイタル、オーケストラとの共演を重ねている。使用楽器は宗次コレクションより貸与されたGiovanni Grancino(1694年製)